

石狩市浜益区
地域協議会広報



浜地協

だより

《発行》浜益区
地域協議会事務局
〈支所地域振興課〉
Tel 79-2029
Fax 79-3702

[H27.VOL111]

H27年度 第4回 浜益区地域協議会

【とき】H27.7.23(木)18:30~19:07

【ところ】支所庁議室

【委員】〈出席〉10名 〈欠席〉5名 【傍聴】0名

【主な内容】

- ①はまます郷土資料館整備構想
- ②石狩市過疎地域自立促進市町村計画

・会議の概要を掲載しています。
・詳細は、市ホームページで後日公開しています。

当日は、生涯学習部文化財課担当課長より①はまます郷土資料館整備構想(地域資料の活用構想)について、説明がありました。

●郷土資料館のリニューアル
●基本的な考え方

①浜益区の歴史を象徴する歴史的な建築物
②単なる資料館の模様替えではなく、浜益区の文化財をどう保管・展示しながら後世へと受け継いでいくかという観点で検討

※議会からも「はまます郷土資料館をどうするのか?」と質問があり、教育長も本会議で「はまますの

郷土資料館の建物は、鯨番屋を象徴するような建物である。今後キチンと保存していく」と答弁。

●ネットワーキングによる郷土資料の活用
歴史的建築物である旧白鳥番屋を活かし、石狩市の歴史の大きな部分を占める鯨漁の歴史に関する展示が望まれる。また、展示の場所に区内の既存施設を有効活用することも検討。

「文化財郷土資料の活用」では、郷土資料は、個々の「物」だけでなく、その地域にある様々な特色のある自然、歴史的な意味のある場所、史跡的なものを含めて、広く総合的に保存活用すべきとの考えである。(説明看板整備)

(質疑)資料館は、大事にしていたいただきたい。「雨漏り」などしてないか。

(回答)「すが漏り」など生じ、その都度補修している。

(質疑)浜益にも「荘内藩陣屋跡研究会(会長相馬保)を立上げ、毎月話し合っている。この団体を活用し郷土資料館も含めた中で、全体的にやっていたりける可能性があるのではないか。

(回答)こちらのお手伝いよりは、

次回地域協議会
●平成27年9月7日(月) 18時30分
●浜益支所庁議室

「荘内藩陣屋跡研究会」について、どんな形で応援できるか、その中でこちらの方でお願いできる部分が出てくるかと考えている。

(要望)お互い連携して、浜益でも「市民活動」が出来るのではないかと。教育委員会も「資料館は残すこと」の基本的な考え方に安心している。答申どおり進めていただきたい。

(質疑)地域協で答申案に対する意見などの協議は、今後ともないか。

(回答)答申自体は、以前に出ているにも係らず、皆さんにご説明が遅くなった。郷土資料館の建物について、「しっかりと保存して欲しい」とのお声もあつたかと、反省している。節目の中で、地域協の中で話したい。審議会からの答申もあるが、地域住民と十分理解していただきながら、進めたい。

次に、地域振興課担当より②石狩市過疎地域自立促進市町村計画について、説明がありました。

●平成二四年度の法律の改正により、平成三二年度まで五年間延長され、本市の計画も、平成三二年度まで計画期間の延長を行う。

●今回の見直しは、平成二二年度に同様な変更作業を行っているが、基本的に大きな変更はない。

●データ等の時点修正や登載事業

☆人事異動☆ ・石狩市浜益支所

七月一日付けで人事異動がありました。

本庁保健福祉部こども家庭課より、浜益支所市民福祉課地域福祉・介護保険担当へ一名異動となりました。(写真裏面・シャッターチャンス左)

笹本 和義(ささもと かずよし)
出身 札幌市
職場 浜益支所市民福祉課主査
趣味 映画鑑賞、読書

7月より、こちらにごやっかいになっております。笹本と申します。

私、1年少し前までは夕張市派遣で、山間部の自然を満喫しておりましたが、この度こちらに呼んでいただきましたので、これからは海沿いの自然を堪能させていただきたいと思っております。

もの静かな男です。目立たない所から、皆様の生活を支える一助となるべく精一杯やらさせていただきます。

の追加を行うもの。

●今後の日程は、内容につき庁内で協議を行い、八月下旬には「計画の素案」を策定する予定。

●素案をもとに地域協議会と協議を重ね、十一月中には「原案」を確定したい。

●十二月のパブコメを経て、翌年一月に「最終案」を確定したい。

●平成二八年石狩市議会第1回定例会に上程する予定。

